

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを とともに生きよう感謝の心で



学校だより

12月号

横浜市立谷本小学校
令和5年11月30日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



創立 150 周年記念式典

校長 高橋 哲雄

11月25日、谷本小学校創立150周年記念式典がありました。横浜市教育委員会教育長をはじめご来賓の皆様にご参加いただき、子どもたちと一緒にこの節目をお祝いすることができました。ありがとうございました。式辞としてお話をさせていただいた内容を一部抜粋してご紹介させていただきます、巻頭言といたします。

式 辞 (抜粋)

さて、谷本小学校は、明治6年、1873年に今の千草台にあった安養寺に谷本学舎として発足し、翌年には今の下校庭のところに校舎が建てられました。江戸時代から明治に代わってすぐ、新橋から横浜まで日本に初めて鉄道が開通したり、横浜の馬車道にガス灯がともされたり、新しい文化が芽生え始めたばかりの頃のことです。この地域の方々の教育に対する情熱には頭の下がる思いです。職員玄関に飾ってありますが、「谷本学舎」の印のある当時使われていた教科書が残っていて、その時代へ思いを馳せることができます。

よくお話をさせていただくのですが、昨年度の着任以来、本当に多くの方から「私は谷本小学校の卒業なんです。昔はね・・・。」というお話を聞きます。例えば、大雨が降ると谷本川があふれ市ケ尾方面から来る子どもたちはおやすみになったこと、地域で寄付を集めてランドピアノを買ったことや校歌ができたのがうれしくて家で歌っていたお話、学校に水族館があって谷本川の生き物を飼っていたこと、ミツバチが二宮金次郎の像に集まって真っ黒になったというお話もありました。こんなお話を聞いたたびに、皆さんの谷本小学校に対する強い思いを感じずにはられません。

「片づけをしていたら創立100周年の時に記念で配ったホチキスが出てきたので懐かしくて」と、当時教務主任をされていた鎌田繁先生からご連絡をいただき、本日この式典にもご出席いただくことができましたこともつながりを感じうれしく思っております。

この谷本小学校は本当に多くの方に支えていただきながら教育活動を行っています。放課後キッズクラブは、地域が主体となって、「地域の子どもたちは地域で育てる」という思いをもって子どもたちに関わってくださいます。

おやじの会、たぬきクラブもいつも子どもたちのために尽力してくださいます。あのオレンジや黒のTシャツをみるといつも心強く思います。本校のシンボルでもある「谷本の森」も保全委員会があり皆さんの力で維持されています。学校の花壇も本当に思いを込めてきれいにさせていただいています。子どもたちの下校の安全もいつも温かく見守ってくださっています。お伝えしきれませんが、今、こうして、本校の子どもたちが日々の活動を進めていられるのも、これまでの150年間、今と同じように、本校に関わる多くの大人たちが熱い思いをもち、子どもたちのために日々考え、温かい目で見守り、手を携えながら、本気で取組を進めてこられました成果であると感じています。

今は「将来の変化を予測することが困難な時代」と言われています。例えば、AIやロボットなどが私たちの生活の中に入り込み、これまでの生活が大きく変わっていくと考えられます。そんな時代だからこそ、人と人とのつながりが大切になります。お話をさせていただきましたように、谷本にはその文化があると感じています。今後も、谷本小学校のこの文化を発展させていくことができるよう、教職員一同、一人一人の子どもたちの未来のために力を尽くしていく所存です。